

編 集 後 記

「島根医学」Vol. 29, No. 3 を会員の皆様にお届けする運びとなりました。

生涯教育講座としては、本年4月から本格的に活動を開始された疾病予知予防研究拠点の並河徹先生に組織の概要と今後の取り組みについて御教示を頂きました。ターゲットとなるフィールドの現状を調査により把握し、今後地域に密着した予防医学が実践されて行くよう期待されます。

また、塩飽先生の大学病院に於ける温室効果ガス削減の取り組みは、大学スタッフ全員で息長く実行して行くことにより成果が得られるもので、リーダーシップをとられる先生のご努力は並大抵の事ではないと推察されます。塩飽先生には産業医部会の御講演などもしばしばお願いしておりますし、県医師会としても日頃感謝申し上げているところであります。

河崎先生の御研究は、日常診療の中で患者さんの状態を如何にして良好に保つかと云う現場の努力の現れと思われました。また、泉先生は乳児・小児のインフルエンザ感染について、視点を変えて3編の原稿を頂きましたが、時宜を得たご発表として会員の皆様の啓蒙に役立つものと考えられます。岡野先生達のご発表は、患者さんの胃排出能を的確に把握する手段として研究を進められたもので、自家製のバリウム・ボールによって安価な経費で状態の把握が可能になると考えられます。今後の改良に期待したいと思います。

今回は診療所の先生からの投稿がありませんでしたが、日常の診療の中での研究が発表される事を期待しております。

(老亥)

島根医学編集委員

沖田 瑛一， 西野 泰生， 錦 織 優， 伊藤 是 衛， 葛尾 信 弘，
岩本 正 敬， 児玉 和 夫， 益田 順一， 信太 秀 夫， 佐藤 比 登 美，
小林 祥 泰， 中山 健 吾， 徳 島 武

島 根 医 学

平成21年9月30日発行

発行者	島 根 県 医 師 会
編 集	浜田市蛭子町 編集者 沖 田 瑛 一
発行所	松江市学園南2丁目3番11号 有限会社 松 陽 印 刷 所